



<間伐する時は、どうやって木を倒したらいいの？>

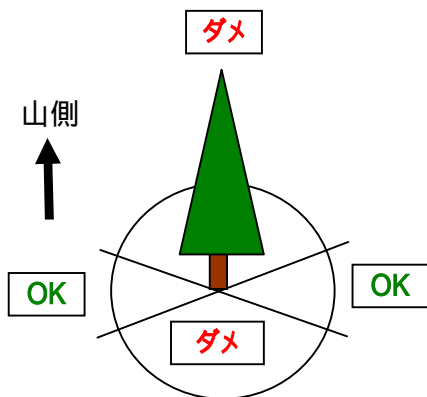
間伐は木を切り倒す作業ですから、当然危険を伴います。

木を倒す方向を適切に選ぶことは、安全面や集材を行う上で、非常に重要です。

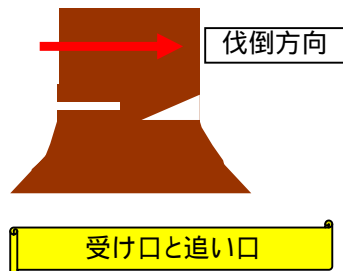
山では、横方向か斜下方向に倒すのが良いと言われています。山側に倒すと伐った木が滑り落ち危険ですし、下側に倒すと材が傷んでしまいます。

ある程度大きな木を伐る時には、専門家に任せることも考えるようにしてみましょう。

適切な伐木方向を選びましょう



伐倒方向に、斜めに受口を切り込み、その後に追口を入れて倒します。



森林再生の現場から

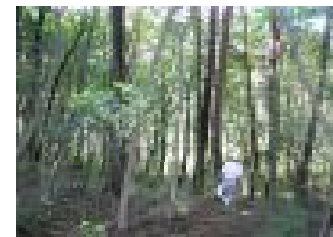
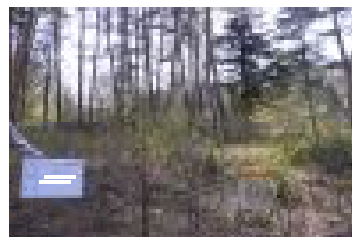
里山整備事業による山の手入れが進んでいます。左の写真は、アカマツ林伐採後にササを刈り、広葉樹の「芽かき」など行ったもので、将来は広葉樹を主体とした山へと変化していくことになるでしょう。

右の写真は株分かかれた雑木を今後里山整備して改良する予定の山林です。

アカマツ林は、薪炭利用が繰り返された痩せ地に多くみられます。それゆえ、人間が薪を利用してきた懐かしい「里山」の風景を生み出しています。

近年では薪を使わないため、「しば刈り」を行わず、雑草木が生えてきています。自然に任せれば、他樹種からなる山へと変化していくのですが、この藪がイノシシなどの格好の住み家になっている場合もあります。

アカマツ林を整備する場合には、単なる雑草木の除去ではなく、徐々に樹種を転換するなど、質的な改良を行っていくことも考えていくべきでしょう。



山の手入れを支援する制度が動き出しました

森林整備を始めませんか？